

「成長戦略を議論するに当たって」

2020/11/06

1 成長の基本は、競争政策にある。しかしながら日本では、成長のための競争政策を進める主体が不明確。民間議員として「競争政策」についてのスタディ・チームを作りたいので、事務局にサポートして頂きたい。

中小企業の問題も、競争政策のあり方に関係する。携帯料金値下げの背景には、寡占市場への疑問がある。

アメリカでは司法省がプラットフォーマーの分割も議論される中で、日本では巨大通信会社が誕生・・・競争政策の視点からの点検が必要。

エネルギーに関連する問題として、旧一般電気事業者による不当廉売など、市場支配力を利用した競争排除の問題も。電力自由化はなされたものの、適正な競争環境が実現してはいないとの指摘もある。

2 海外で普通に成長しているビジネスなのに、日本で進んでいないものが少なからず存在する。そこにこそ、日本経済成長の重要な源泉があるはず。こうした分野を事務局でリストアップして頂きたい。

日本では不動産テックがほとんど議論されていない・・・ビッグデータの欠如。アメリカのMLSと日本のREINSの差。

シェアリング・エコノミーが進んでいない・・・既得権益者の強い抵抗。

アメリカでは株式取引における私設取引の比率が高いのに、日本では極めて低い・・・先般の東証全日取引停止のインパクト。

3 以上のような点について、エビデンスに基づく（エピソードに偏らない）議論を徹底して行うべき。事務局のサポートを期待。